

ブックガイド 気楽に読んで査定力アップ！ (12)

uuwroom.com/satei-info-kokunai/sanko-kokunai/bookguide12/

——冬休みに読みたい三冊——

「読まなくてもいい本」の読書案内

知の最前線を5日間で探検する

(橘玲著 筑摩書店 1600円税別 2015年11月刊行)

気楽に読める一般向けの本で、アンダーライティングに役立つ最新の医学知識をゲットしよう。そんなコンセプトでブックガイドしています。査定歴20年の自称査定職人ドクター・ホンタナ（ペンネーム）です。

今年（2017年）最後のブックガイドになりました。気楽な本を選んでいるとはいえ、医学がからんでいるものばかり。でも保険って社会的側面も大きいですよ。そこで今回は年末スペシャル、医学から離れました。・・・ここ半年の間に読んだ医学系ではない本の中から、一見保険とは無関係に見えますが意外に仕事に役立つという3冊を選んでみました。

まずは橘玲「「読まなくてもいい本」の読書案内」。これはおすすめです。複雑系・進化論・ゲーム理論・脳科学・功利主義の分野で読むべき入門書を示しつつ、トンデモ本を一刀両断。ネット社会以前の学問、とくにポストモダンとか精神分析とか・・・ほとんど陳腐化してしまいました。ネット社会以降の日本の文系学問（大学でやっている法学・経済学・文学・教育学 etc.）はすべからず古いパラダイムから脱出できず、文系大学の廃止は当然・・・まあ痛快ではあります。アンダーライティング部門で科学的な思考をしても、保険会社って、ま、古い文系パラダイムが主流だからな～というグチをいしがちですが、そんな人も溜飲がさがるといって一冊。因みにドクター・ホンタナのブックガイドは、読まなくてもいい本は「まあまあ」とか「～には役立つ」程度の表現を使っています。読むべき本は絶賛していますので、ご参考に。

2冊目は中川毅「人類と気候の10万年史」。気候と保険・・・はかなり離れていそうですが・・・。成長トレンドにせよ下向トレンドにせよ、普段の日常は（保険業にせよ、人生にせよ）ゆっくりと変動するトレンドを前提にしていますよね。ところが、予測できない激変があってガラガラポンになり、またそこからトレンドになる。このガラガラポンをPhase change（相転移）と呼びます。特に、気候学では、温暖化・寒冷化のPhase changeのしくみはかなり詳しく明らかになっています。われわれのアンダーライティング環境もいつPhase changeに見舞われるかわかりません。トレンドを追うだけではなくPhase changeに備える、そんな視点の重要性を教えてくれる、これも絶賛の一冊です。

最後はちょっとタイトルは微妙ですが、片山杜秀「国の死に方」。この本が保険と関係あるとは思わずに読んでいたのですが、関東大震災の時の保険金不払問題（地震免責）が詳しく書かれていて驚きでした。このときのさまざまの出来事が保険金不払い問題とからんでい



たらしいです。地震による火災ではなく放火だという強弁などなど。結局政治主導で約款を超えた支払を強要されたらしいです・・・いやあ、勉強になりますよ。「歴史は繰り返す。一度目は悲劇として、二度目は喜劇として（マルクス）」ですね。

年末年始は5連休以上の会社が多いのではないのでしょうか。この3冊、こたつでぜひ読んでみてください。それではみなさんよいお年を。（査定職人 ホンタナ Dr. Fontana 2017年12月）

関連本・サイトなど

人類と気候の10万年史

（中川 毅著 講談社ブルーバックス 920円税別 2017年2月刊行）

国の死に方

（片山 杜秀著 新潮新書 720円税別 2012年12月刊行）

